

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス	ワークス	FHマーセナリーA	カヴァー	研究所所長
オプション	ソラリス	年齢	年齢不詳(老け顔)	性別	男性
覚醒	探求	衝動	解放	初期侵食率	32 %
出自	結社の一員	経験	敵性組織	邂逅	傑作の探求

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	1		0			1	(非装備時)	6
精神	4		0			4	戦闘移動	11
社会	3		0			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転: 軽大型バイク	2		芸術:			知識:			情報: 情報: FH	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品		ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
変異種	P	N			
王府 零	P 有為	N			
元同僚	P 連帯感	N 無関心			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
支配の領域	2	6	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の判定ダイスを1つ1にする Lv回まで使用可能							
絶対支配	2	4	リミット	至近	自身	自動	リミット	
効果:	対象のダイスを支配の領域+Lv個1にかえる							
奈落の法則	2	4	セット	至近	範囲	自動	-	
効果:	対象が行う判定のc値+1							
束縛の領域	1	5	オート	至近	自身	参照	80%	
効果:	対象の達成値を難易度にして<交渉>判定に成功するとその攻撃は失敗になる 1シーンに1回							
ブービートラップ	2	3	オート	至近	単体	自動	-	
効果:	対象の判定ダイス-(Lv+2)							
言葉の盾	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果:	<交渉>でドッジを行える							
要の陣形	1	3	メジャー	-	3体	-	-	
効果:	対象を3体にする。1シナリオにLv回数使える							
封じ手	1	3	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果:	重圧を与える Lv回使用できる。							
ナーブジャック	1	4d10	メジャー	視界	単体	対決	120%	
効果:	対象の意思と対決。勝利をするとメジャーを1回行わせる							
オールマイティー	1	4d10	メジャー・リアクション	-	-	-	ダイス・120%	
効果:	組み合わせたエフェクトが、エフェクトによって失敗しない。1シナリオに一回まで。							
竹馬の友	★	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	「お前は、最高傑作(最愛の娘・息子)だよ。」と言い聞かせる							
マーキング	★	-	メジャー	至近	参照	自動	-	
効果:	自分の所有物(実験体)には名前を付けないと							
不可視の領域	★	-	メジャー	至近	参照	自動	-	
効果:	今のご時世、色々と面倒ごとが多いものでね。							

元UGNの研究者。自分の思う通りの研究がしたいと飛び出し、現在はFHに所属している。
 遺伝子操作によって非合法に生物を生み出し、『究極の生物兵器』をテーマに日夜研究、実験を続けている。実現したいことの為ならどんな犠牲も払ってもかまわないし、どんな手でも使う。好きなように研究をさせてくれる今の環境は彼にとって好都合。
 戦闘では、妨害することが得意。
 彼は自分を「ゴットファーザー」と思っているし名乗っているが「マッドファーザー」と裏で呼ばれていることが多い。
 強欲で頑固。飽きっぽい性格ではあるが、夢中になるものへは執着する。高笑いをよくする。気分屋。ナルシスト。

以下は読まなくてもかまわない設定。
 自分の生み出した作品たちは、自身の遺伝情報(精)(自分自身を完璧な存在だと思っている。組み込むのがポリシーなところがある。)を組み込むので、産みだされた作品は全て実子となる。培養して産み出す場合と母体を用意し産み出させる手法を取る。母体への愛(関心)などは一切ない。産み出した『愛すべき子ども(成功作)』は、逃げられないように調教、洗脳(竹馬の友)し、自身の檻に閉じ込め続ける。しかし『失敗作』は自分にとってはゴミ。処分すべき存在。完璧な存在でなければ彼の『愛すべき子ども』にはなれない。
 自分の産み落とした作品には、「マーキング」でサインをつけてある。場合によっては一般人にも見せつける事も。
 『ナーブジャック』と『オールマイティー』により、思い通りに全てを操る。
 王府 零は、彼が『最愛の娘(最高傑作)』だと思っていた存在。長年の調教、洗脳、訓練により作り上げていっていたが、「究極獣化」を習得できなかったために『失敗作』へ変わった。ゴミとして切り捨て処分したが、UGNに拾われ、記憶を亡くした彼女を現在監視中。
 『究極獣化』を習得した瞬間に、『最愛の娘』を迎えに行くだろう。

モチーフ 黒薔薇:「束縛」「貴方は全て私のもの」

